



# 学校だより

入善町立飯野小学校

令和4年10月28日

「できるから 分かるから 楽しい」

校長 中 英美

最近、教室でじっくり授業を見る機会が増えました。1時間授業を参観していると、始めは不安そうな顔をしている子供も、先生や友達の説明を聞いたり、何度も繰り返して似たような課題に挑戦したりするうちに、「できた!」「分かった!」と明るい笑顔を見せます。そして、だんだん自信が付き、発表しようと挙手し始めるのです。子供たちが、学習に意欲的になるうれしい瞬間です。

学校では、「できる」「分かる」を増やすために、大きく2つの方法で取り組んでいます。

1つ目は、もちろん、子供たちが分かるようにするための授業づくりです。「課題に興味・関心をもつように、実物を見せよう」「考える力を付けるために、ペアで説明し合う時間を取ろう」「マイタブを使ってみんなの考えを共有しよう」「まとめを自分の言葉で書かせ、分かったことを自覚させよう」などと構想し、実践しています。また、学校全体で互いの授業を参観するなど、教師自身が学び合い、授業改善に努めています。

2つ目は、アクションプランで取り組んでいる「家庭学習の充実」です。子供たちの学力向上には、学校で学習するだけでなく、学んだ知識や技能を定着させたり、興味のあることを調べたりする家庭学習がとても大切です。学校では、よい取組を掲示したり、1学期間に自主学習ノート1冊を終わるという目標を立てたりして、子供たちのやる気を引き出すようにしています。家庭学習への意欲を高めるには、家族の関わりも重要です。ほめてやる気を起こさせたり、認めて自信をもたせたりするなどの保護者の働きかけが、子供たちの主体性を高める大きな原動力になります。夏休み前のことですが、3年生の男の子が「今年の自由研究、何しようかな」とつぶやいていました。主体的に取り組もうとする意識が育っていると感心しました。飯野小学校の子供たちの夏休みの自由研究や発明くふう作品のレベルの高さは、保護者の協力のおかげだなと痛感しております。日々の家庭学習においても意欲的に取り組めるよう、今後とも学校と家庭で力を合わせていきましょう!

脳科学者の話によると、脳の構造から、一生懸命に学習したことで、翌日には50%忘れるそうです。でも、反復することで脳に定着する率が高まるのだそうです。確かに、よく使う九九は忘れ



ませんね。反対に、高校で学習したサイン、コサイン、タンジェント等は、日常的に使うことがないので、私の場合は、忘却の彼方です。漢字も使わなければ忘れます。ノートを書くとき、習った漢字を使っていくだけで定着していくのです。ちょっとしたことで、子供たちの学力が向上していくと考えると、次は何をしようかなとわくわくしませんか?

## さわやかに交わそう！あいさつ運動

10月17日(月)～21日(金)

やや肌寒い朝の空気の中、あいさつ運動が行われました。企画委員会の呼びかけで、17日(月)は1、2年、翌日からは一学年ずつ子供たちが玄関前に並んで、元気よく「おはようございます！」と登校する子供たちに挨拶をしました。また、18日(火)からは、「入善町さわやかあいさつ運動」ということで地域の方々も加わり、玄関前ではにぎやかに挨拶が交わされました。企画委員が放送で言ったように、「あいさつ運動が終わっても、元気よく、気持ちのよい挨拶をしましょう！」



## サツマイモが掘れたよ 10月13日(木)、20日(木)

実りの秋。1、6年生と2、5年生は、ペア学年で一緒に植えたサツマイモの収穫をしました。上学年は、下学年に「こうすると掘れるよ」と優しく掘り方を教えたり、手伝ったりして、触れ合うよい機会となっていました。掘り出したイモの中には、巨大なニンニクやリンゴのような変わった形のものがああり、子供たちの目を楽しませていました。

## 図書館見学に行きました 10月18日(火)



2年生は、生活科の校外学習で、徒歩と電車で町の図書館見学に行きました。初めて電車に乗る子供が多く、切符の買い方や電車の乗り方の約束を聞いて、緊張しながらも楽しんで移動しました。図書館では、施設の方に蔵書や利用の様子等について説明を受けた後、質問をして詳しく教えていただきました。図書館が町の多くの人たちにとって、大事な施設であることを改めて知ることができました。

## 持久走大会に向けて走っています！

今月下旬～来月上旬に、持久走大会を予定しています。今年度は、低・中・高学年毎に大休憩に行い、他の学年を互いに応援し合おうと考えています。おはようタイムや体育の時間を使って、一人一人が自分の目標タイムを目指し、持久走の練習に励んでいるところです。



最後まで  
走り抜けるぞ！

## ほっとタイム



\*先生方の、ほっとできるようなエピソードや一言を紹介します。

### 「寒い季節の定番」

勝田 舞

日に日に寒くなり、温かいものが食べたくなる季節になりました。秋から冬の私の定番は、某数字の番号のラーメン屋さんの「酸辣湯麺」(サンラータンメン)です。初めて食べたときは、「すっぱくてこんなの食べられない!」と思ったのですが、みるみるうちにはまっていき、今では大好きになりました。すっぱくて辛いのに、なんでこんなにおいしいのでしょうか。人間の味覚は不思議です。みなさんも寒い季節の定番はありますか。

### 「うまいかない」

上島 康平

今年度に入り、自宅で過ごす時間が増えたので、いつかやってみよう!と思っていたレザークラフトを始めました。その工程の一つに、染色というものがあります。真白の革に染料を塗布していくのですが、色の濃淡やグラデーション等、なかなか思い通りにはいきません。「うまいかないなあ」とこぼしながら、「次は塗り方を工夫しよう」「染料の割合を変えてみようか」と、「うまいかない」ことを楽しんでいる今日この頃です。